

ことばと文化

ー東南アジアと東アジアの視点から

講演会 7月23日(水)～7月25日(金)、9時30分から

サマースクール研究発表会 7月24日(木)～7月25日(金)、13時から

一般公開、ハイブリッド開催(事前申し込み必要)

来たる7月23日から25日に、東京外国語大学国際日本研究センターは夏季セミナー・サマースクールを開催いたします。国際日本研究の発展と発信をめざす夏季セミナーは、今年で15回目を迎えます。国内外からお呼びしたゲスト講師と本学の教員による講義、さらに大学院生によるサマースクールの同時開催という形態で行います。みなさまのご参加を心からお待ちしております。

東京外国語大学国際日本研究センター長 川村大

◆ プログラム ◆

7月23日(水)

09:30 - 10:40 Himawan Pratama (インドネシア大学)

キャプテン翼の「ボールはともだちだ」は何を語っているのか？

ポップカルチャーにおける物語の位置づけ

10:50 - 12:00 金 間愛 (明治学院大学)

沖縄施政権返還後、「本土」における演劇集団「創造」の上演活動

——「人類館」の1978年東京公演に注目して

7月24日(木)

09:30 - 10:40 岡野 賢二 (東京外国語大学)

ビルマ語研究を通じて見えてくる日本語・日本文化

ー 代名詞代用と事象キャンセルを例としてー

10:50 - 12:00 小野塚 若菜 (東京外国語大学)

次世代の教育アセスメント (仮)

7月25日(金)

09:30 - 10:40 降幡 正志 (東京外国語大学)

インドネシア語と日本語の音声を対照してみる

: 両言語の学習の観点も含めて

10:50 - 12:00 川村 大 (東京外国語大学)

通言語的研究と個別言語研究の間 —— 日本語受身文研究から

